

# お金も住むところもない

## ぐんま派遣村に相談相次ぎ

仕事や住まいを失った人たちを支援する「いのち・くらし・雇用なんでも相談会—ぐんま派遣村」が3月26日、前橋公園で開かれ、桐生から歩いてきた人など約100人が相談などに訪れました。

労働・生活相談会場には、午前中から相談者が列を造り、「3月末までの契約だったが、昨年12月12日で解雇された」「昨年8



月から公園で寝泊まりしている。膝が痛いけど保険証がないので医者にかかれない」などの相談がありました。

医師や看護師による健康診断やボランティアによる食事の提供もされました。

## 指定ゴミ袋の販売価格が引き下げられました

指定ゴミ袋の原材料の価格が下がったことから市では4月から、燃やせるゴミ袋など5種類の袋の値段を引き下げました。

燃やせるゴミ袋（大）が300円から230円に、燃やせるゴミ袋（小）は210円から160円に、燃やせないゴミ袋、指定プラスチック容器袋、指定金属袋も50円引き下げられました。

\*お店によって販売価格は、異なる場合があります。

## 子育て応援手当 ちょっと不公平なのは？

国の第二次補正予算で、子どもが三人以上いる家庭に、第二子以降の子どもに一人あたり、一回に限って三万六千円を支給されることになりました。

しかし、三人の子どもがいる家庭でも、今年の三月末で三歳から五歳の子どもが対象となるため、第一子が六歳で、第二子が二歳、第三子が0歳の場合には支給されません。

子育てを応援するなら、児童扶養手当の引き上げ、父子家庭も対象にすることこそ必要です。



## 山間に春をよぶ 追貝の獅子舞

明治時代の末ごろ、根利山に富山からで稼ぎに来ていた人が、伝えたとされている追貝の大国神社の獅子舞が、3月29日おこなわれました。

獅子舞は、畑を荒らす獅子を獅子狩りの二人が退治するというもので、神社で舞いを奉納してから、獅子が上に登るという縁起をかつぎ、下から上の地区へと家々をまわり、春をよぶといわれています。



2009年4月5日

NO. 167

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

# やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 TEL 23-1519 部内資料



消費対策の必要性が高まったと言っなら新年度予算案を、なおさら内需・家計を重視する方向に組み替えるべきでできた。二〇一一年度までに消費税の増税をおこなおうとするなど、さらに国民に負担を求めることは、くらしも経済も壊すことになってしまいます。

こんにちは。あまりにも輸出にかたよった経済路線をとってきた日本の景気は、欧米を上回る激しさで悪化し、とりわけ国民のくらしと中小企業の打撃は深刻です。三月に成立した新年度予算は、社会保障の抑制をそのままにし、大企業・大資産家を応援する「構造改革」型をつづけ、内需と家計をないがしろにし、輸出頼みのやり方は変わっていません。これで、景気も国民のくらしもよくなるのでしょうか。麻生首相は、定額給付金について「豊かな人に出す必要はない」と言っていますが、「経済情勢が大きく変わり、消費刺激の比重が重くなった」として、態度を急変させました。

# こんにちは 大東のぶゆきです

## ぶらり散歩 めまた道 沼田地区 その八 妙光寺 慶寿院殿と加藤正良の墓



慶寿院殿の墓

加藤正良の父、忠広が徳川幕府に対して謀反の疑いありとされ、出羽に流され、正良は母と妹といっしょに七歳で沼田に流されてしまいました。

正良は、承応二年（1653）七月に自刃し、母もまもなく亡くなり、妹は江戸に出て不明となったといわれています。

坊新田町にある妙光寺には、五代沼田城主伊賀守信直の母、慶寿院（けいじゅいん）の墓と加藤清正の孫に当たる加藤藤松正良の墓があります。

慶寿院は、二代城主真田信吉の側室で、信吉の死後は、息子の喜内（後の伊賀守信直）と月夜野の小川でくらし、喜内が二十三歳で五代城主となり、慶寿院も沼田に移り、本隆寺を改築



加藤正良の墓

## 無料 生活法律相談のお知らせ

弁護士が遺産相続、交通事故、サラ金などの相談におこたえます

日時 4月8日・22日 午後1時から

場所 日本共産党利根沼田地区委員会事務所  
沼田市下久屋町983 TEL 23-1519

※相談を希望される方は、前日までにご連絡ください。